

## グループホームの新たなサービス評価（概要）※H29.4.1施行

- グループホームが制度化されてから現在まで、サービスの質の確保・向上を目指して評価事業が行われ一定の評価を得てきたが、その一方で、評価に対する事業者の意識格差や取り組みの形骸化、事業所の全体像や評価内容やその結果の分かりにくさ等が課題として挙げられてきた。
- 幾度かの評価項目の見直しや改訂によって、グループホームの目指すケアや役割等、グループホームならではの取組内容が見えにくくなった。
- グループホームの原点に立ち戻り、サービスの質の向上・改善につながるツールとして機能する評価の在り方について見直すこととした。

### 1. 「利用者本人にとってどうか」という視点で評価する

- ・現在の評価では、事業所における取組状況（していること）が中心となり、「利用者本人にとってどうか」という結果が分かりづらい。
- ・そこで、「利用者本人にとってどうか」という観点から、利用者の暮らしの質の確保・向上を図るための支援内容を具体的に問う項目を増やし、評価項目を再編する。

### 2. ガイドブックがなくても項目の意図や狙いが分かるようにする

- ・各項目に問われる意図や内容について細分化した小項目を設けることで、ガイドブックがなくてもその項目の意味や意図することが分かるようにする。

### 3. 評価項目の達成度合いを記号化し「見える化」する

- ・実践の達成程度を記号で表記することで、一目で状態の把握ができ、事業所が取り組むべきポイントを明確化する。

◎：よくできている  
○：ほぼできている  
△：時々できている  
×：ほとんどできていない

### 4. 外部評価機関による評価の他に家族評価・地域評価を加える

- ・それぞれの立場から評価することで外部からの多面的な評価が得られる。
- ・良し悪しを見るための「評価」ではなく、さらなる取り組み（ステップアップ）につなげる「多様な外部からの目」であり、家族や地域の方々が日頃から“身近に関わる”という意識の醸成につなげる。
- ・家族や地域の評価については、評価項目とリンクさせたアンケートを実施し、結果の平均を記号化し評価結果に反映する。
- ・地域評価については、主に運営推進会議の構成員を対象とする。

### 5. 事業所の全体像を把握できる開示方法にする

- ・ワムネットにおいて開示される評価結果内容に事業所の概要を追加し、利用する側が事業所の全体像を把握できるようにする。

## 実施要綱別表の新旧対応

	現行	見直し後	備考
別表第1	自己評価及び外部評価表 (評価項目 1~55)	<u>サービス評価結果表(表紙)</u>	・事業所番号欄追加 ・外部評価機関記入欄追加
別表第1の2	自己評価及び外部評価結果表(表紙)	<u>評価結果表(評価項目 1~51)</u>	評価項目再編
別表第1の3	評価結果概要表 (評価項目 56~68)	<u>事業所の概要表</u>	概要表は評価結果と併せて ワムネットに公開
別表第1の4	目標達成計画	目標達成計画	注釈追記
別表第3	利用者家族等アンケート 用紙	<u>利用者家族等アンケート 用紙</u>	・項目再編 ・内容は評価結果に反映
別表第3の2	—	<u>地域アンケート用紙</u>	・新規 ・内容は評価結果に反映

※実施要綱別表第2、別表第4、別表第5、別紙1、様式第1~14号については変更なし。

## 地域密着型サービス評価項目一覧新旧対照表

現行	
I	理念に基づく運営
II	安心と信頼に向けた関係づくりと支援
III	その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
IV	その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

⇒

見直し後	
I	その人らしい暮らしを支える (1)ケアマネジメント (2)日々の支援 (3)生活環境づくり (4)健康を維持するための支援
II	家族との支え合い
III	地域との支え合い
IV	より良い支援を行うための運営体制

自己評価	外部評価	項目
<b>I. 理念に基づく運営</b>		
1	1	理念の共有と実践
2	2	事業所と地域とのつきあい
3		事業所の力を活かした地域貢献
4	3	運営推進会議を活かした取組み
5	4	市町村との連携
6	5	身体拘束をしないケアの実践
7		虐待の防止の徹底
8		権利擁護に関する制度の理解と活用
9		契約に関する説明と納得
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映
11	7	運営に関する職員意見の反映
12		就業環境の整備
13		職員を育てる取組み
14		同業者との交流を通じた向上
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>		
15		初期に築く本人との信頼関係
16		初期に築く家族等との信頼関係
17		初期対応の見極めと支援
18		本人と共に過ごし支えあう関係
19		本人を共に支えあう家族との関係
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援
21		利用者同士の関係の支援
22		関係を断ち切らない取組み
<b>III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>		
23	9	思いや意向の把握
24		これまでの暮らしの把握
25		暮らしの現状の把握
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング
27		個別の記録と実践への反映
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化
29		地域資源との協働
30	11	かかりつけ医の受診支援
31		看護職との協働
32		入退院時の医療機関との協働
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援
34		急変や事故発生時の備え
35	13	災害対策
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>		
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援
38		日々のその人らしい暮らし
39		身だしなみやおしゃれの支援
40	15	食事を楽しむことのできる支援
41		栄養摂取や水分確保の支援
42		口腔内の清潔保持
43	16	排泄の自立支援
44		便秘の予防と対応
45	17	入浴を楽しむことのできる支援
46		安眠や休息の支援
47		服薬支援
48		役割、楽しみごとの支援
49	18	日常的な外出支援
50		お金の所持や使うことの支援
51		電話や手紙の支援
52	19	居心地のよい共用空間づくり
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり

⇒

項目No.	家族評価	地域評価	外部評価	評価項目
<b>I. その人らしい暮らしを支える</b>				
<b>(1) ケアマネジメント</b>				
1	○	○		思いや暮らし方の希望、意向の把握
2			○	これまでの暮らしや現状の把握
3			○	チームで行うアセスメント
4	○	○		チームでつくる本人がより良く暮らすための介護計画
5			○	介護計画に基づいた日々の支援
6			○	現状に即した介護計画の見直し
7			○	チームケアのための会議
8	○			確実な申し送り、情報伝達
<b>(2) 日々の支援</b>				
9			○	利用者一人ひとりの思い、意向を大切に支援
10	○	○	○	一人ひとりの誇りやプライバシーを尊重した関わり
11			○	ともに過ごし、支え合う関係
12				馴染みの人や場との関係継続の支援
13	○	○	○	日常的な外出支援
14	○		○	心身機能の維持、向上を図る取組み
15	○	○	○	役割、楽しみごと、気晴らしの支援
16	○	○	○	身だしなみやおしゃれの支援
17	○		○	食事を楽しむことのできる支援
18			○	口腔内の清潔保持
19	○		○	排泄の自立支援
20	○		○	入浴を楽しむことのできる支援
21			○	安眠や休息の支援
22				電話や手紙の支援
23				お金の所持や使うことの支援
24	○		○	多様なニーズに応える取組み
<b>(3) 生活環境づくり</b>				
25	○	○	○	気軽に入れる玄関まわり等の配慮
26	○	○	○	居心地の良い共用空間づくり
27	○		○	居心地良く過ごせる居室の配慮
28			○	一人ひとりの力が活かせる環境づくり
29	○	○	○	鍵をかけないケアの取組み
<b>(4) 健康を維持するための支援</b>				
30				日々の健康状態や病状の把握
31	○			かかりつけ医等の受診支援
32				入退院時の医療機関との連携、協働
33				看護職との連携、協働
34				服薬支援
35	○		○	重度化や終末期への支援
36				感染症予防と対応
<b>II. 家族との支え合い</b>				
37	○		○	本人をともに支え合う家族との関係づくりと支援
38				契約に関する説明と納得
<b>III. 地域との支え合い</b>				
39		○	○	地域とのつきあいやネットワークづくり
40	○	○	○	運営推進会議を活かした取組み
<b>IV. より良い支援を行うための運営体制</b>				
41	○	○		理念の共有と実践
42	○	○	○	職員を育てる取組み
43			○	虐待防止の徹底
44				身体拘束をしないケアの取組み
45				権利擁護に関する制度の活用
46				急変や事故発生時の備え・事故防止の取組み
47				苦情への迅速な対応と改善の取組み
48	○		○	運営に関する意見の反映
49	○	○	○	サービス評価の取組み
50	○	○	○	災害への備え
51		○	○	地域のケア拠点としての機能